

平成27年 第2回定例会

美 瑛 町 議 会 会 議 録

(第4号) 3月23日 開会

美 瑛 町 議 会

平成27年第2回美瑛町議会定例会会議録

議事日程(第4号)

平成27年第2回美瑛町議会定例会

平成27年3月23日午前9時30分開議

- | | | |
|-----|--------|--|
| 第 1 | | 会議録署名議員の指名について |
| 第 2 | | 議会運営について(議会運営委員会審査報告) |
| 第 3 | 議案第14号 | 平成27年度美瑛町一般会計予算について
(予算審査特別委員会審査報告) |
| 第 4 | 議案第15号 | 平成27年度美瑛町国民健康保険特別会計予算について
(予算審査特別委員会審査報告) |
| 第 5 | 議案第16号 | 平成27年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算について
(予算審査特別委員会審査報告) |
| 第 6 | 議案第17号 | 平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算について
(予算審査特別委員会審査報告) |
| 第 7 | 議案第18号 | 平成27年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算について
(予算審査特別委員会審査報告) |
| 第 8 | 議案第19号 | 平成27年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算について
(予算審査特別委員会審査報告) |
| 第 9 | 議案第20号 | 平成27年度美瑛町水道事業会計予算について
(予算審査特別委員会審査報告) |
| 第10 | 議案第21号 | 平成27年度美瑛町立病院事業会計予算について
(予算審査特別委員会審査報告) |
| 第11 | 議案第27号 | 美瑛町老人保健施設条例の一部改正について |
| 第12 | 議案第28号 | 平成26年度美瑛町一般会計補正予算について |
| 第13 | 議案第22号 | 指定管理者の指定について |
| 第14 | 議案第23号 | 指定管理者の指定について |
| 第15 | 議案第29号 | 指定管理者の指定について |
| 第16 | | 所管事務調査の申し出について |

○出席議員（14名）

1番	沢	尻	健	議員	
2番	森	平	真也	議員	
3番	佐	藤	晴観	議員	
4番	杉	山	勝雄	議員	
5番	斉	藤	幸一	議員	
6番	山	家	慶治	議員	
7番	花	輪	政輝	議員	
8番	八	木	幹男	議員	
9番	穂	積	力	議員	
10番	福	原	輝美子	議員	
11番	角	和	浩幸	議員	
12番	濱	田	洋一	議員	
13番	沼	田	成功	議員	
議長	14番	齊	藤	正	議員

○欠席議員

○出席説明員

町長	浜田哲君
副町長	塚田聡仁君
会計管理者	佐藤剛敏君
総務課長	石井典夫君
政策調整課長	鈴木貴久君
税務課長	太田茂夫君
住民生活課長	山田厚誠君
保健福祉課長	藤原悟君
保健センター所長	中島二郎君
保健福祉課参事	田中繁美君
経済文化振興課長	武井一真君
文化スポーツ推進室長	嵯城和彦君
農林課長	大西能正君
建設水道課長	三田村尚樹君
水道整備室長	今野聖貴君
町立病院事務局長	古本彰君
総務課長補佐	新村猛君
総務課財政係長	竹本匡志君
教育委員長	大西宣充君
教育長	千葉茂美君
管理課長	宮崎敏行君
図書館長	野崎千恵君
農業委員会会長	川崎章道君
農業委員会事務局長	東本浩昭君
代表監査委員	有富武君
監査事務長	今滝毅君

○書記

事務局長 後路 宜伸 君
係 長 高島 和浩 君

開議挨拶

○議長（齊藤 正議員） おはようございます。22日間に及ぶですね長丁場の定例会、いよいよ最終日を迎えることになりました。私もですね、この場所に立つのは今日が本当に最後でございます泣きそうな気持ちを抑えながらですね今日の最後の日をですね務めたいというふうに思うところでございますが、議員の仲間にもですね今期で引退される議員もいるということでございます。どうかですね最後の最後の日でございます。有終の美を飾るべく、しっかりと最後の務めをですね果たしていただきたいものというふうにお問い合わせを申し上げまして開会をいたします。

開議宣告

○議長（齊藤 正議員） 本日の会議を開きます。ただ今の出席議員は14人であります。

日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（齊藤 正議員） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は会議規則第126条の規定によって、1番沢尻健議員と13番沼田成功議員を指名します。

諸般の報告

○議長（齊藤 正議員） これから諸般の報告を行います。

事務局長。

○議会事務局長（後路宜伸君）

（諸般の報告をする）

（報告文の記載を省略する）

○議長（齊藤 正議員） これで諸般の報告を終わります。

日程第2 議会運営について

○議長（齊藤 正議員） 日程第2、本定例会の議会運営について、山家慶治議会運営委員会委

員長の報告を求めます。

(「はい」の声)

はい、山家委員長。

(議会運営委員会委員長 山家 慶治議員 登壇)

○委員長(山家慶治議員) おはようございます。報告いたします。

(議会運営についての報告をする)

(報告文の記載を省略する)

以上であります。

○議長(齊藤 正議員) これで、議会運営についての報告を終わります。本日の議事日程は、印刷物で配布のとおりであります。

行政報告

○議長(齊藤 正議員) 浜田町長から行政報告の申し出がありました。これを許します。

(「はい」の声)

浜田町長。

(町長 浜田 哲君 登壇)

○町長(浜田 哲君) おはようございます。我々の4年の任期最後の定例会ということでありましても、その定例会もまた最終日を迎えることになりました。先ほど齊藤議長さんの方からお話しがありましたとおり、この4年間、議員の皆さん方にはまちづくりに、また行政運営にいろんな面でご活躍をいただき、私どももご指導いただきましたことに改めて感謝を申し上げます。議長から涙が出るのかどうか分かりませんが、皆さん方がご活躍をいただいたこと心から敬意を申し上げます。平成26年度の特別交付税について決定がされましたので、その報告をさせていただきます。平成26年度の決定額につきましては、表にありますとおり3億9705万2千円ということで、8.4%の増となっております。3068万7千円の増額であります。今のところ、平成26年度予算におきましては2億4700万円ほどの計上をさせていただいておりますので、残りについてはまた今後の財政運営等、また事業等に実施すべく財源として活用したいというふうに思っています。内容につきましては、全国レベルでは市町村分としましては0.6%の減という内容になっております。北海道の町村におきましてはプラスマイナスゼロということでありましても、美瑛町におきましては8.4%の増ということで、大変ありがたく受け取らせていただきたいと思います。内容につきましては、明確な数値は出されておられませんけれども、緊急防災減災事業、定住自立圏といったようなものについての金額の配付があったんじゃないかというふうに見て

いるところであります。以上であります。よろしくお願い申し上げます。

○議長（齊藤 正議員） これで行政報告を終わります。

発言の取消申出

○議長（齊藤 正議員） ただ今11番角和浩幸議員から、3月16日の会議における発言について、美瑛町議会会議規則第64条の規定によって、お手元に配布しました発言取り消し申請書に記載した部分を取り消したいとの申し出がありました。

お諮りします。これを許可することにご異議ありませんか。

（「なし」の声）

異議なしと認めます。したがって、11番角和浩幸議員からの発言の取り消しの申し出を許可することに決定しました。

日程第3 議案第14号 平成27年度美瑛町一般会計予算について

日程第4 議案第15号 平成27年度美瑛町国民健康保険特別会計予算について

日程第5 議案第16号 平成27年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算について

日程第6 議案第17号 平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算について

日程第7 議案第18号 平成27年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算について

日程第8 議案第19号 平成27年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算について

日程第9 議案第20号 平成27年度美瑛町水道事業会計予算について

日程第10 議案第21号 平成27年度美瑛町立病院事業会計予算について

○議長（齊藤 正議員） 日程第3、議案第14号、平成27年度美瑛町一般会計予算についての件、日程第4、議案第15号、平成27年度美瑛町国民健康保険特別会計予算についての件、日程第5、議案第16号、平成27年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算についての件、日程第6、議案第17号、平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算についての件、日程第7、議案第18号、平成27年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算についての件、日程第8、議案第19号、平成27年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算についての件、日程第9、議案第20号、平成27年度美瑛町水道事業会計予算についての件及び日程第10、議案第21号、平成27年度美瑛町立病院事業会計予算についての件を一括議題とします。

議案第14号から議案第21号までについて、平成27年度美瑛町議会予算審査特別委員会委員長の報告を求めます。

（「はい」の声）

はい、穂積平成27年度美瑛町議会予算審査特別委員会委員長。

(予算審査特別委員会委員長 穂積 力議員 登壇)

○委員長(穂積 力議員) おはようございます。朗読を持って報告に代えさせていただきます。

(報告分の朗読を省略する)

以上です。よろしく申し上げます。

○議長(齊藤 正議員) これから委員長報告に対する質疑を行います。

お諮りします。議案第14号から議案第21号までの質疑は一括行いたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「なし」の声)

異議なしと認めます。したがって、議案第14号から議案第21号までの質疑は一括行うことに決定しました。

それでは議案第14号から議案第21号までについての質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第14号から議案第21号までについての質疑を終わります。

これから討論を行います。

お諮りします。議案第14号から議案第21号までの討論を一括行いたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「なし」の声)

異議なしと認めます。したがって、議案第14号から議案第21号までの討論は一括行うことに決定しました。

議案第14号から議案第21号までについての討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声)

討論なしと認めます。これで議案第14号から議案第21号までについての討論を終わります。

これから日程第3、議案第14号の件を採決します。本件に対する委員長の報告は可決です。議案第14号、平成27年度美瑛町一般会計予算についての件を委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第14号の件は委員長の報告のとおり可決されました。

次に日程第4、議案第15号の件を採決します。本件に対する委員長の報告は可決です。議案第15号、平成27年度美瑛町国民健康保険特別会計予算についての件を委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第15号の件は委員長の報告のとおり可決されました。

次に日程第5、議案第16号の件を採決します。本件に対する委員長の報告は可決です。議案第16号、平成27年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算についての件を委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第16号の件は委員長の報告のとおり可決されました。

次に日程第6、議案第17号の件を採決します。本件に対する委員長の報告は可決です。議案第17号、平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算についての件を委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第17号の件は委員長の報告のとおり可決されました。

次に日程第7、議案第18号の件を採決します。本件に対する委員長の報告は可決です。議案第18号、平成27年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算についての件を委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第18号の件は委員長の報告のとおり可決されました。

次に日程第8、議案第19号の件を採決します。本件に対する委員長の報告は可決です。議案第19号、平成27年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算についての件を委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第19号の件は委員長の報告のとおり可決されました。

次に日程第9、議案第20号の件を採決します。本件に対する委員長の報告は可決です。議案第20号、平成27年度美瑛町水道事業会計予算についての件を委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第20号の件は委員長の報告のとおり可決されました。

次に日程第10、議案第21号の件を採決します。本件に対する委員長の報告は可決です。議案第21号、平成27年度美瑛町立病院事業会計予算についての件を委員長の報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第21号の件は委員長の報告のとおり可決されました。

日程第11 議案第27号 美瑛町老人保健施設条例の一部改正について

○議長(齊藤 正議員) 日程第11、議案第27号、美瑛町老人保健施設条例の一部改正についての件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

(「はい」の声)

はい、藤原健福祉課長。

(保健福祉課長 藤原 悟君 登壇)

○保健福祉課長(藤原 悟君) おはようございます。議案第27号の提案理由につきましてご説明申し上げます。議案集追加分になります。追加分の97頁をお開き願います。新旧対照表は追加資料の1頁になりますのでご参照願います。このたびの条例の改正につきましては、平成27年度から介護報酬の改定により光熱水費相当分の額の見直しが行われたことに伴い、多床室の基準費用額が50円それぞれ改定されることから、美瑛町老人保健施設条例の一部改正をお願いするものです。それでは議案を朗読いたします。

(議案の朗読を省略する)

以上で議案第27号の提案理由の説明を終わります。よろしくお願い申し上げます。

○議長(齊藤 正議員) これから質疑を行います。改正条例全文についての質疑を許します。質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから日程第11、議案第27号の件を採決します。議案第27号、美瑛町老人保健施設条例の一部改正についての件を原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第27号の件は原案のとおり可決されました。

日程第12 議案第28号 平成26年度美瑛町一般会計補正予算について

○議長(齊藤 正議員) 日程第12、議案第28号、平成26年度美瑛町一般会計補正予算についての件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。

(「はい」の声)

はい、石井総務課長。

(総務課長 石井 典夫君 登壇)

○総務課長(石井典夫君) おはようございます。議案第28号の提案理由につきましてご説明を申し上げます。議案集は追加議案集の98頁から106頁になります。今回の補正予算につきましては、国の平成26年度緊急経済対策補正、地域住民生活等緊急支援のための交付金等を活用し翌年度へ繰り越して実施する各種事業及び今後の財政運営に備えての基金への積立などでございます。それでは議案条文を朗読し、その後内容を説明いたします。

(議案の朗読を省略する)

それでは歳入歳出補正予算事項別明細書の歳出から説明をいたします。103頁をお開き願います。歳出になります。第2款総務費、第1項総務管理費、第5目財産管理費、補正額120万円の追加でございます。庁舎維持管理事業、庁舎の修繕に係る費用の追加でございます。

第7目地域振興費、補正額4785万2千円の追加でございます。まず1点目は、地方版総合戦略策定事業、緊急経済対策、繰越事業になります。この委託費が1千万円。そして2点目は、丘のまちびえい活性化協会補助金。これにつきましても繰越事業になります。1508万6千円でございます。内訳としては、特産品アンテナショップ事業に700万円、それから美瑛ブランディング事業408万円、外国人雇用人件費400万6千円でございます。続きまして3点目が、未来を創造するまちづくり連携事業。これにつきましても緊急経済対策としての繰り越しになります。観光マスタープランの策定事業ということで1276万6千円でございます。4点目が、再生可能エネルギー活用推進事業。これにつきましても緊急経済対策事業としての予算の追加でございます。1千万円でございます。

続きまして、第12目諸費でございます。補正額が60万円の追加、過年度歳入過誤納還付

金の追加でございます。町税等の各種補助金と実績精査に伴う追加でございます。

第3款民生費、第1項社会福祉費、第1目社会福祉総務費、補正額800万円の追加でございます。生活支援事業、緊急経済対策事業ということで繰越事業になります。低所得者向けの燃料等々購入助成事業の追加ということでございます。

第2目高齢者福祉費、補正額850万円の追加でございます。介護サービス利用料軽減助成事業、緊急経済対策、これにつきましても繰越事業になります。850万円でございます。

105頁、106頁をお開き願います。第6款農林水産業費、第1項農業費、補正額91万5千円の追加でございます。農産物直売交流施設管理運営事業、これにつきましても緊急経済対策ということで繰越事業になります。ふるさと市場の修繕等でございます。

第7款商工費、第1項商工費、第2目商工業振興費、補正額2835万円の追加でございます。美瑛町消費活性化事業、緊急経済対策の繰越事業になります。プレミアム付き商品券等の発行助成事業でございます。

第3目観光費、補正額300万円の追加です。観光振興対策ということでライトアップ事業、これにつきましても27年度へ繰り越して実施する事業でございます。実行委員会への補助金300万円でございます。

第12款諸支出金、第1項普通財産取得費、第1目公共施設等整備基金費及び第8目丘のまちびえいまちづくり基金費、それぞれ今後の財政運営に備えての基金の積み立てでございます。公共施設等整備基金については4千万円、それから丘のまちびえいまちづくり基金については878万3千円の積み立てということになります。

続きまして101頁へお戻りいただきたいと思えます。歳入になります。第10款地方交付税、第1項地方交付税、第1目地方交付税、補正額6492万円の追加でございます。今年度交付額が43億8633万6千円、今回の補正で全額計上ということになります。

続きまして第14款国庫支出金、第2項国庫補助金、第1目総務費補助金、補正額7276万8千円の追加でございます。1点目が、地域住民生活等緊急支援のための交付金6276万8千円。それから2点目が、地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金1千万円でございます。1番の地域住民生活等緊急支援については、地域消費喚起・生活支援型で3009万7千円。それから地方創生先行型で3267万1千円ということになります。

第15款道支出金、第2項道補助金、第1目総務費補助金、補正額845万円の追加でございます。地域住民生活等緊急支援のための交付金、これは北海道の負担分でございます。

続きまして、第20款諸収入、第5項雑入、第4目雑入、補正額106万2千円の追加でございます。高額介護サービス費返納金、介護サービス利用料軽減助成についての追加でございます。その他雑入で6万2千円。

続きまして第2表の説明をいたします。100頁へお戻りいただきたいと思えます。平成2

7年度へ繰り越して実施する事業でございます。第2表繰越明許費補正、追加でございます。第2款総務費、第1項総務管理費、事業名、庁舎維持管理事業、以下4事業、合計490万2千円でございます。

続きまして第3款民生費、第1項社会福祉費、生活支援及び介護サービス利用料軽減助成事業、合計で1650万円でございます。

第6款農林水産業費、第1項農業費、農産物直売交流施設管理運営事業ということで91万5千円でございます。

第7款商工費、第1項商工費、美瑛町消費活性化事業及び観光振興対策ライトアップ事業、合計で3135万円でございます。合わせて10事業、合計で9781万7千円でございます。99頁の第1表は説明を省略いたします。以上で議案第28号の提案理由の説明を終わります。よろしくお祈りを申し上げます。

○議長（齊藤 正議員） これから議案第28号について総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

（「なし」の声）

質疑なしと認めます。これで議案第28号について総括質疑を終わります。

次に、議案第28号についての質疑を行います。議案集の101頁から106頁まで、平成26年度美瑛町一般会計補正予算の歳入歳出補正予算事項別明細書の歳入歳出全款についての質疑を許します。

（「はい」の声）

はい、7番花輪議員。

○7番（花輪政輝議員） 7番議員です。全部ということですので、3項目質問させていただきたいと存じます。まず最初に第1項目、103頁から104頁、第2款総務費、第1項総務管理費、第7目地域振興費、説明欄の（2）丘のまちびえい活性化協会補助金、緊急経済対策事業補助金についてですが、本件の事業は丘のまちびえい活性化協会が行う事業に対する補助金と伺いました。そこで特に事業内容の詳細なんですが、特産品とかブランディングについてなど、ご説明はあったんですが、そういった内容についてもう少し詳しくお願いします。

2項目、105頁から106頁、第7款商工費、第1項商工費、第2目商工業振興費、補正額2835万円、説明欄に美瑛町消費活性化事業、緊急経済対策事業交付金とありましてプレミアム商品券の発行事業、商工会が行うですね補助金だと伺いましたが、具体的な事業内容、どのような内容なのでしょうか伺います。

第3項目としまして、同じく第3目観光費、補正額300万円、説明欄に観光振興対策ライトアップ事業とございました。具体的なライトアップの事業、青い池だと思うんですが、内容について伺いたいと存じます。よろしく申し上げます。

(「はい」の声)

○議長(齊藤 正議員) はい、武井課長。

○経済文化振興課長(武井一真君) はい、3項目とも私の方でお答えをさせていただきます。

まず1点目でございます、丘のまちびえい活性化の補助金1508万6千円でございますが、これらの具体的な運営と申しますか、内容でございます。まず、特産品開発の部分で東京にありますアンテナショップの運営ということで、これらの美瑛産の特産品をですねPRするという、これまでも継続しておりますが今回の緊急対策には最適ということで、ここの部分で700万円を計上させていただいております。さらにブランディング委員会というものを立ち上げまして、これまで数回協議を行ってきておりますが、より美瑛の中で優秀な品物、こういう物にきちっとした位置付けをして、さらに販路を拡大していくという意味で、これらについてのマーク含めたですねネーミング、こういうものをある程度26年度に実施しております。これを実際にどういう形で運営していくかという部分で408万円ほどを付けさせていただいております。さらに同じく活性化でございますが、外国人の雇用ということで北大との連携事業の中から台湾の方が採用という予定をしております。この方に対する人件費、この方の部分につきましては外国人で4か国語を話すということでございますので、それらの語学力を含めてですね外国人に対するいろいろな形で対応していきたいというふうに考えてございます。

次に、2点目のプレミアム商品券の関係でございます。プレミアム商品券につきましては、実は現在もやっております、この4月までまだやっております。これは26年度事業ということでございます。今回は27年度に向けた事業ということで、これまでとほぼ同じ発行額は1万5400セットということで町民の方に対応していきたいと。さらに今回、特別枠で観光客の方に3千セットということで考えてございます。町民向けに対しましては、これまでと同じ500円券を20枚つづりで3枚プラスして23枚ということで、1万円が1万1500円、15パーセントの上乗せということでございますが、観光客につきましては、この形ではなかなか難しいということで、今回予定でございますが5千円券プラスプレミアム分の750円の券を付けたもの、それと1万円券で合わせて1500円を付けたもの、この2種類で現在対応していこうということで商工会さんの方と協議をしております。8月頃から翌年の1月ぐらいまでの期間、少し長い期間をもちまして、PRを含めてですね観光客の方にも購買力を増やしていただくというようなことで考えているところでございます。

それから3点目でございます。青い池のライトアップの関係でございますが、既にご承知のとおり昨年の12月20日から2月いっぱいということでライトアップを実施しております。19日の日に一度、実行委員会と企画部会と申しますか事業部会と申しますか、そういうものも併せて実施しております、この期間の延べの集客でございますが、カウンターを設置したことによりまして1万5千人強、約70日間で1万5千人強のカウントを見ております。その

中で、始まったのがちょっと12月ということで遅かったこともありまして、実行委員会の中では次年度に向けてどういう対応が良いのかということで、冬場の観光ライトアップということで備品等はもう購入済みでございますので、どういう場所をどのぐらいの期間ということで今後検討させていただいた中で、新たに場所の選定も含めてですね何か所かになるかもしれませんが検討しながら、秋口までに方向を出したいということでございます。以上でございます。

(「はい」の声)

○議長(齊藤 正議員) はい、7番花輪議員。

○7番(花輪政輝議員) 7番議員です。まず第1項目目の丘のまちびえい活性化協会が行う事業に対する補助金なんですが、開発、運営という部分がちょっと気になったんですが、あくまでも700万円はPR専門で、特産品を開発しようということではないという意味になってくるのでしょうか。特産品の開発という点についてですね、最近国もですね非常に名産品の振興補助というものについて、この5年間、今年度を初年度としてですねそれぞれ新しい地域経済の活性化、地域創生ということの中から、ふるさと名物応援制度というような新たな振興施策ということ掲げているんですが、この部分ではあくまでも商品開発というものではなくてPRを行っていくんだということでしょうか。再度その点について、特産品を開発するというような考えはないのかどうか伺います。

2点目の商品券について、これについてなんですが新しくですね観光客の皆さん、町外の方も本町で買い物ができて商店街の活性化につながるということでございますから大変前向きな部分だと存じますが、本件は100パーセント国と道の補助金で事業が行われるということなんですが、最近全国的にこの部分においては少子化対策であるとか、あるいは弱者対策、ひとり親家庭ですとか、そういうもののこのたびのプレミアム商品券を配って、ある程度1万円とか5千円とか、3人以上の子供さんがいるところにはプラスアルファしようとか、そういうような動きが出てきているんですが、そういった少子化対策あるいは高齢者、弱者対策というような点については検討されないでしょうか伺います。

3点目、青い池のライトアップの事業ですが、ただ今のご説明の中で、このたびは1万5千人ということで議員会でも実際視察に伺いましたが、近郊の方々が実際にライトアップ事業を觀賞に来られているということで大変成功した事業でなかったかと思っておりますので、今も伺いましたが、以前、町長もご答弁の中でリピーター、また来て下さるようにですね、すぐ飽きられてしまうという部分がありますから、青い池以外にもですね1か所でも2か所でも増えていくような具体的にですね、そしてリピーターの方が来て下さって冬の観光振興にぜひつながるような事業内容になるようなご検討をぜひともしていただくべきでないかと考えますが、その点について再度伺います。以上です。

(「はい」の声)

○議長(齊藤 正議員) はい、武井課長。

○経済文化振興課長(武井一真君) はい、1点目でございます。まず、活性化協会の700万円の関係でございますが、先ほどちょっと私、特産品うんぬんというふうに言ったかもしれませんが、主はですね企画、広報、PR、これが主になろうかと思えます。その中でお客様のニーズといいますか、そういうものが当然出てくると思えますので、アンケート調査やご意見も賜っております。そんな中で例えばこういう物があつたら良いねとかっていうことも伺っておりますので、その辺はそういう聞き取りの中からですね今後も十分検討して、将来的にそういう新しい特産品というものにつなげていけるような形が1番良いのかなというふうにご考えてございます。

それから2点目でございますが、私の方からちょっとお答えするべきではないのかもしれませんが、今回行いますのはあくまでも商工会が地域の商店街を含めた活性化という部分でございます。花輪議員おっしゃられるように、例えば少子化それから弱者の部分ですか。この部分はプレミアム商品券が良いのか、また違う形でですねこの中にどういう形かで肉付けするのが良いのかちょっと分かりませんが、現段階ではですね今言ってる部分につきましては、私どもの方ではちょっと考えてなかったということでご理解をいただきたいと思えます。

3点目でございますが、青い池のライトアップということで、今回は青い池ということで限定をさせていただきましたが、先ほども申し上げましたように、実行委員会の中では青い池に限らず美瑛町に集客をして、さらにそこで購買力も付けていただいて、その為には例えばPRの仕方だとか、そういうものもやはり工夫が必要だろうということでございますので、もう少し今度のこの秋に向けてはですね、どのぐらいの期間をどこで、どのぐらいの期間をどこでというなことをある程度決めまして、さらにこれらのPRもですね事前に行いながら集客して、購買力につなげていきたいというふうにご考えてございます。以上です。

(「はい」の声)

○議長(齊藤 正議員) はい、浜田町長。

○町長(浜田 哲君) 私の方から少し補足をさせていただきます。武井課長も私の方から行けというところもあります。まず、活性化協会の関係でありますけども、考え方といたしましては今回も一般質問で今後の商工業の方々の生き残りというような戦略をどう考えるんだということだというふうに私も思っています。そんな中でですね今回、旭川にも大きなまたスーパーが開店するという状況もありますし、美瑛町の商業形態としてどのような形がこれからの生き残りの課題としてクローズアップされていくのか、この辺をやはり十分考えていく必要があるというふうに思ってます。そんな中でやはり地域に根ざした商品を作っていく、また一方では今まで住民の方対象の店が多かったわけでありまして、確実に観光客の方々が美瑛

町で消費をしていただいています。こういった方々に対する対応というような部分からも活性化協会のこれからの意義っていうのは非常に役割、私は大きくなっていくだろうというふうに思ってます。そんな面から調査ですとか、今花輪議員さん言われるように新しい商品開発、こういった面も含めてですねPRも含めて、今実は今年からは、今までもずっとやってきてんですけど、美しい村の連合の物もですねそごう西武で大々的に池袋で5月からやろうということに取り組んでいます。こういうような部分に対して我々もやはりPRをかけていかなきゃならんというようなこともありますので、経費も掛かっていますが、しかしこれからの美瑛町の商工業の発展についてはですね、やはり意義深いものがあるんじゃないかということで、そんな面にも、全部そんなことではありませんけども、そんな面幅広く対応していきたいというふうに考えているところであります。それから商品券につきましては、これは今回議員ご指摘のとおり、国庫支出金と補正の関係を使わせていただきました。大変ありがたく、大きな金額を使わせていただくこととなりますけども、もともと町で金額1千数百万の金額を出していますんで、これは新しい、また選挙後の行政運営の中で考えていくということを考えていかれるということになると思いますんで、今議員のご指摘をいただいた部分については、そういった面の引き継ぎ事項として検討させていただくことになるというふうに思っています。

それからライトアップについてはですね、今回きっかけについては基本的には町の方で美瑛の町民の方、また写真家の方々と協議しながら、商工会とも連携し、観光協会とも連携しながらライトアップ事業を進めてきました。大変心配しまして、やったはいいいけども、あまり何も評判ならないで終わるかなという部分もありましたけども、おかげさんで1日200名以上の方々が見ていただいたという結果になりました。こういった面をですね十分に我々の経験として踏まえながら、やっぱりまちづくりは住民の方々、まちを実際に働いている、また活動している方々が主役になっていく、そういった部分がやはり大きな要になってきますんで、この事業についても検討委員会がまたいろいろと検討していただいて良い結果をさらに美瑛町の魅力を発信できるような、そういう結果を出していただけることを期待しながら今後見通していくと、事業を見通していくことになるというふうに思ってますんで、ご理解いただきたいと思えます。以上であります。

○議長（齊藤 正議員） はい、他に質疑ありませんか。

（「なし」の声）

質疑なしと認めます。次に議案集の98頁から100頁まで、平成26年度美瑛町一般会計補正予算の条文第1表歳入歳出予算補正及び第2表繰越明許費についての質疑を許します。

質疑ありませんか。

（「なし」の声）

質疑なしと認めます。これで議案第28号についての質疑を終わります。

これから討論を行います。

議案第28号について討論はありませんか。

(「なし」の声)

討論なしと認めます。これで第議案第28号についての討論を終わります。

これから日程第12、議案第28号の件を採決します。議案第28号、平成26年度美瑛町一般会計補正予算についての件を原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第28号の件は原案のとおり可決されました。

日程第13 議案第22号 指定管理者の指定について

○議長(齊藤 正議員) 日程第13、議案第22号、指定管理者の指定についての件を議題とします。本件について提案理由の説明を求めます。

(「はい」の声)

はい、武井経文化振興課長。

(経済文化振興課長 武井 一真君 登壇)

○経済文化振興課長(武井一真君) おはようございます。議案第22号の提案理由につきましてご説明を申し上げます。議案集は93頁になります。美瑛町地域資源活用総合交流施設ラヴニールでございますが、につきましては、平成26年度より旭川ターミナルビル株式会社に指定管理を1年間の期間で議決をいただいて運営をさせていただいております。今般、継続の協議をいたしましたところ、親会社でありますJR北海道が新幹線の開業とJR北海道を取り巻く諸般の事情によりまして、27年度1年をもって指定管理を終了したい旨の申し出がありました。したがって、今回の提案につきましても1年間という期間でお願いをするものでございます。施設の経営状況につきましては、昨年4月の条例改正により宿泊料等も上がりました。したがって、計画に対しまして宿泊部門では約6%の伸び、逆にレストラン部分はずね10数パーセントの減額と聞いております。ただ、トータルにつきましては数%の伸びと聞いております。それでは議案を朗読いたします。

(議案の朗読を省略する)

以上で議案第22号の提案理由を説明させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○議長(齊藤 正議員) これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから日程第13、議案第22号の件を採決します。議案第22号、指定管理者の指定についての件を原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第22号の件は原案のとおり可決されました。

日程第14 議案第23号 指定管理者の指定について

○議長(齊藤 正議員) 日程第14、議案第23号、指定管理者の指定についての件を議題とします。本件について提案理由の説明を求めます。

(「はい」の声)

はい、武井経済文化振興課長。

(経済文化振興課長 武井 一真君 登壇)

○経済文化振興課長(武井一真君) 議案第23号の提案理由につきましてご説明申し上げます。議案集は同じく93頁になります。平成20年4月1日より指定管理を行っている本施設は7年を経過し、これまで2回の指定管理を議決をいただいたところであり、これまでの指定管理につきましても適正に処理していただいていることから、今般期間が満了することに際しまして継続して5年間の指定管理をお願いするものであります。それでは議案を朗読いたします。

(議案の朗読を省略する)

以上で議案第23号の提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご説明申し上げます。

○議長(齊藤 正議員) これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから日程第14、議案第23号の件を採決します。議案第23号、指定管理者の指定に

ついでに、この案を原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第23号の件は原案のとおり可決されました。

日程第15 議案第29号 指定管理者の指定について

○議長(齊藤 正議員) 日程第15、議案第29号、指定管理者の指定についての件を議題とします。本件について提案理由の説明を求めます。

(「はい」の声)

はい、大西農林課長。

(農林課長 大西 能正君 登壇)

○農林課長(大西能正君) おはようございます。それでは私の方から議案第29号の指定管理者の指定について提案理由の説明を申し上げます。議案集は107頁になります。現在、上川生産農業協同組合連合会が所有しております白金地区共同利用模範牧場を4月1日より美瑛町が所有し美瑛町営白金牧場として管理をすることから、その管理を行う指定管理者の指名をしたいので、美瑛町公の施設に係る指定管理者の指定等に関する条例に基づき議会の議決をお願いするものでございます。それでは議案を朗読いたします。

(議案の朗読を省略する)

以上で議案第29号の提案理由の説明を終わります。よろしく願いいたします。

○議長(齊藤 正議員) これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」の声)

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから日程第10号、議案第29号の件を採決します。議案第29号、指定管理者の指定についての件を原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

はい、挙手多数であります。したがって、議案第29号の件は原案のとおり可決されました。

日程第16 所管事務調査の申し出について

○議長（齊藤 正議員） 日程第16、所管事務調査の申し出についての件を議題とします。本件について総務文教常任委員会委員長齊藤幸一議員、産業経済常任委員会委員長穂積力議員、議会運営委員会委員長山家慶治議員から所管事務調査を行うため、閉会中の継続調査の承認を求める申し出が別紙のとおりありました。

お諮りします。

本件については各委員長からの申し出のとおり承認したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「なし」の声）

異議なしと認めます。したがって、本件は各委員長の申し出のとおり承認することに決定しました。

なお、派遣地、調査事項等に変更が生じた場合には、議長において承認したいと思いますので了承願います。

閉会宣告

○議長（齊藤 正議員） これをもって、本定例会に付議された案件の審議は全部終了しました。会議を閉じます。平成27年第2回美瑛町議会定例会を閉会いたします。

閉会挨拶

○議長（齊藤 正議員） 閉会に当たりまして、ご挨拶を申し上げたいと思います。予定どおりですね、日程ぴったりですね第2回定例会を終了することができました。心より厚くお礼を申し上げる次第でございます。今回ですね、次の選挙には立起しないという議員が5名ほどいるようです。まだ決定ではございません。4月の段までは分からない点もあるのかなというふうに思うところがございますが、私も辞める方の1人でございます。本当に私はですね、ちょうど20年前にこの議場の席を汚すようなことで登壇したわけでございますが、本当にその時の平成7年、今ですねオウム真理教等によってサリン事件が20年前のですね思い出として報道されているちょうどその時に立候補し、そして年明けのですね1月17日には阪神淡路大震災と大きな災害があったと年でもございました。そんな中ですね、議員生活と言いながら本当に訳も分からんでですね、ただただおだって議員生活を続けておったわけでございますが、

ただですね、平成11年に浜田町長が誕生したということでございまして、町財政もですね11年の最高のピークが11年ですか、その後小泉政権、いろいろとですね平成の大合併あるいはですね行政改革、聖域なき構造改革とかという名のもとにですね交付金をどんどんどんどん減らして、本当に田舎の地方行政には厳しい状況が続いておったわけでございます。そんな中であってですね、浜田町長もですね機構改革等ともかく職員を減らす等しながらですね、町のですね出る金を少しでも抑えようということからですね、本当にその頃はですね公債費比率もピークを迎えておったところでございますが、25年度にはですね脅威的な9.8%のですね公債費を下げる事ができたということでもあります。議員もですねその片棒は担いでいるのかな、自信を持ってですね頑張っていたきたいというふうに思うところでございますが、そんなんで起債の償還金もですね徐々に減ってですね120億円台で推移をしているというところでございます。私が1番ですね関心したいのはですね、基金がですね40億円を超えるまでのですね基金を保有することになった。積み増し積み増しをしながらですね、やはり上川管内の町村の中ではですね1番の財政規模を誇っている美瑛町でございますから、当然まだ40億円からまだ10億円くらいですね基金の積み増しを持っていてもいいのではないかなというふうに私は勝手に思っているところでございます。そんなんでですね、美瑛町もだいぶそういうことで財政的には良い方向に向かってきたのかなと、私も安心してですね卒業できるかなというふうに思うところでございます。また、議会改革等もですね小さなことからこつこつとということをですね、こつこつも大したできない、大きなこともできないでですね、本当に議会改革については心残りの点も多々あるわけでございますが、本当にそんなことでですね心残りの点につきましても次にですね立起をして頑張っていただけ議員にですね、この夢を託したいなというふうに思うところでございます。また、例えが悪いんですが、私は麻雀が好きでございます。麻雀はですね13牌の配られた牌の中からですねいろんな自分の手づくりをしながらですね、高くしようか、あるいは安くても上がっちゃおうかということでございます。たった13牌の牌の中、そしてばらばらでも上がれるのは国士無双という役一つだけでございます。他の役はですね必ず2つ3つあるいは4つですねつながって、そして上がるわけでございます。麻雀知らない人にはですね、英語より難しくて本当に申し訳ないなというふうに思いながら話をしているところでございますが、そこでですね上がり牌14枚目はですね、これはやっぱり議長の務めだろう。高くしようか安くしようか、あるいは手づくりをもう少ししながら上がろうかというところはですね、やっぱり議長が要をきちっと握りながらですね、この13牌を1牌たりとも無駄にしないでまとめて上がりへつながっていく重要なポストかな。ただ、私は理屈を言うだけで、決してそうではなかった自分に深く反省をしながらですね申し上げているところではございますが、そんなんで私の任期中にはですね議会史の編纂もできました。おかげさまで議会史編纂委員会の皆さんにはですね、本当に3年前からいろいろと

ですね資料集め等から始まってですね、そして膨大な議会史を今月中にですね無事発行することができたということはですね、私の議員人生とちょうどかぶるところが多いわけですので、私もですね本当に非常に感慨深く、本当に私も嬉しく思うところがございます。またですね、本当に議員を去るに当たってはですね一抹の淋しさもあるわけでございますが、もう一月後、来月にはですねまた町長選、あるいは町議選が始まるわけでございますが、それぞれ立起を決意されている皆さん方にはですね、体に十分気を付けながらご健闘をお祈り申し上げたいというふうに思うところがございますし、また、新たな27年度に向かってそれぞれこの議場からですね美瑛町の行く末をいろいろと発展的にですね議論いただいて、この美瑛町をますます発展されますことを心よりご祈念申し上げまして、議長の退任の挨拶もちょっと含めさせていただきますながら、本定例会の閉会の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

午前10時27分 閉会

上記のとおり相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成27年4月20日

美瑛町議会 議長 齊藤 正

議員 沢尻 健

議員 沼田 成功